



# 前橋育英高校報

題字 中村有三 学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

## 未来は、ここから始まる。

### 育英大学開設にあたって

学長 石井 學



育英大学教育学部開設にあたり、多くの方々のご協力を賜りましたことを感謝いたします。

本学は、緑あふれるキャンパスで、アットホームな雰囲気の中、ゆとりある学園生活を送ることができます。

また、建学の精神である「公正・純真・奉仕・友愛」のもと、道徳心を備え、スポーツ教育、児童教育の分野に関する専門性をもった人材を養成したいと考えています。

さらに、現在の教育現場のいじめや、不登校等さまざまな問題に真摯に向きあえる、豊かな人間性と、深い専門性をもった指導者の育成をめざします。

そのために、学生一人ひとりの個性にあったきめ細かなサポートで、学びの充実を応援し、主体的な判断力、行動力を備えた社会人に育て、羽ばたかせたいと考えております。

4年間の学園生活をのみり豊かにするために、学園あげて教育・研究に取り組めます。



## 育英大学

教育学部教育学科  
児童教育専攻／スポーツ教育専攻

2018年4月誕生



## CONTENTS



特集

1～3面

- ・育英大学開学
- ・卒業生教諭情報交換会
- ・地域懇談会
- ・進路／スポーツ実績



保護者会だより 4・5面

- ・進路の日・全国高P連大会
- ・関東高P連・育英祭
- ・県保護者会学校見学会
- ・吹奏楽部 定期演奏会
- ・進学合宿・マナーアップ運動
- ・前橋まつり巡視



同窓会だより 6面

- ・同窓会長挨拶
- ・定期総会
- ・私の近況報告
- ・親子二代同窓生



後援会だより 7面

- ・後援会長挨拶
- ・校長挨拶
- ・定期総会
- ・優秀前橋育英生
- ・援助金贈呈式
- ・コラム育英II



トピックス 8面

- ・全国大会出場決定
- ・文化部活動報告

学園長挨拶

新たな歴史を刻む

中村 有三



平成二十九年を振り返ると、年明け一月の全国高校サッカー選手権大会での準優勝、春三月には2度目の選抜甲子園出場にて初勝利。そして四月、本学園の姉妹学園である中村学園において、大利根幼稚園と大利根南幼稚園を統合し、幼保連携型認定こども園「大利根育英幼稚園」が開園。さらに夏八

理事長挨拶

更なる学園の進化へ

中村 義寛



この度、学校法人群馬育英学園では2018年4月に前橋育英高等学校、育英短期大学に続き、新たに「育英大学(教育学部教育学科)」を開学することとなりました。今日まで地域の皆さまに支えられ、「保育の育英、スポーツ

校長挨拶

スチューデント・ファースト!

山田 耕介



月には2年連続3度目の全国高校野球選手権大会での活躍と、県内外から大きな注目を集めた一年であった。そして、来る平成三十年四月、「公正・純真・奉仕・友愛」の建学の精神のもと、「育英大学」がいよいよ開学の運びとなる。厳しい社会情勢の中、大学の設置認可に向け尽力された学園教職員ならびに関係者諸兄には、心からの感謝を申し上げたい。思い起こせば昭和三十八年の高校創立以来五十五年、勇躍四年制大学が開学されることは、誠に感慨深い。産声を上げた育英大学が、やがては郷土を代表する大学として大きく成長してくれることを願っている。

の育英として地域に密着した教育を実践してまいりました。現在、我が国を取り巻く国際環境は大きな変動の真ただちにあります。国際化と多様化が進み益々複雑化する社会において、人材育成に関して大学が果たすべき役割は、従来にも増して大きなものになっています。この育英大学の開学を機に、前橋育英高校、育英短期大学、共に一層の進化を続けて行けるよう、学生、生徒、保護者、卒業生、教職員で今まで以上に連携を密にして「21世紀に通用する人材」の育成を目指し、さらなる地域社会への貢献ができるよう努めてまいります。

新年度を迎え、7ヶ月余りが過ぎました。冬の寒さが身に染みる今日この頃ですが、今年度は、入学式で新入生に「スチューデント・ファースト」、生徒の学びと進化にとって何が必要かを第一に考える学校を目指すと、言葉に表しました。生徒一人ひとりの「学びたい」「変わりたい」「成長したい」といった気持ちをサポートし実現に導くことを、教職員がひとつになって生徒と共に切磋琢磨して学校生活を充実したものにしていこうとしましたが、実際はどうだったでしょうか。うまくいかないのが人生なのですが、失敗ばかりで挫折することが多いのが現実かも知れませんが、それでもあきらめず、また考え学ぼうとする気持ちが大切です。魔法の勉強方法はありません。小さな積み重ねを続けることしかないのです。生徒の皆さん、まだまだこれからです。がんばりましょう。

卒業生教諭情報交換会 vol.6 ~教育現場から期待すること~ 11月17日(金)

恒例となった卒業生教諭情報交換会は、今年で6回目を迎えます。今回は教育現場で活躍される先生方から、貴重なご意見や母校へのエールを頂くことができました。

【金子登先生】特別支援学級で指導しています。高校でも様々な生徒に対して、社会に対応できる手立てを充実させていかなければならないと思います。前橋育英でも生徒たちの伸びしろを生かした指導をして頂けるよう期待しています。

【小川真太郎先生】真面目に取り組む下位層の生徒に対しては、できるだけ門戸を開いて頂けるとありがたいと思います。部活動など教育課程外の活動をしている生徒は社会性が身についていると感じます。前橋育英や育英大学から群馬県教育界を担ってくれる人材が輩出されることを望んでいます。

【岩木佑太先生】学特二期・一般の合格発表と公立前期試験の日程がぶつってしまい、受験生にとって精神的な負担が大きくなってしまいます。日程を変更して頂けるとありがたいです。↓変更できるか検討します。

【齋藤大輔先生】育英大学について関心があります。教員免許を取得できることが大変魅力ですが、やや情報が足りないように感じます。3年次の成績について、私学によって締日が異なると書類作成が煩雑になってしまいます。私学で統一して頂いた方がありがたいと感じます。↓三

者面談の時期を考慮しながら、適切な締日になるよう検討していきます。

【橋本智之先生】高崎市街地の中学に勤務しています。交通の便が良いこともあり、高崎市内だけでなく埼玉北部の高校へ進学する生徒が多いです。埼玉の高校は入試システムが群馬とは異なるので、対策も必要なのかと思えます。前橋の高校に通わせるにあたり、保護者の方はスクールバス等交通手段を気にかけています。

【小井土泰之先生】サッカー部が今年こそ全国制覇してくれることを期待しています。前橋育英の入試では、欠席日数の多い生徒も受験することが可能か教えて下さい。↓推薦試験では欠席日数を条件にしていますが、学特試験では条件にしません。中学校の時に不登校傾向のある生徒が、高校入学後はほぼ皆勤で登校しているという事例もあります。

【新井健司先生】他私学への進学も視野に入れた、悩み抜いた末に前橋育英への進学を希望する生徒がいます。相談

を受けた際、前橋育英ならこの先に繋がるだろうと助言を行いました。期待を抱いて入学する生徒たちへのご指導をよろしくお願ひします。

【中村哲次郎先生】前橋育英の魅力はスポーツや進学など、いろいろな目的をもった生徒が集まっていることが魅力です。中間層の生徒達も将来の希望を抱いて高校生活を過ごせるよう、個々に応じた指導をして頂くことを期待しています。また、今後大学受験がどのように変わっていくのか気になっています。↓大学受験方法については研究を進めています。

【新井のどか先生】私立高校を選択する際に判断基準のひとつとなっているのが試験の形式です。前橋育英は記述式となっており、公立高校との併願を考えると優位になりますし、学力の高い生徒を集めることができると思います。夏の学校見学会は説明中心ではなく、在校生とのふれあいや模擬授業等などを取り入れて様々な情報発信を行うと、より受験生の関心が高まっていくと思います。

【三澤秀匡先生】山間部の小規模校で指導しています。私立高校を選択する際は、遠方に通うことになるため、交通の便が良いことや寮があることが決め手のひとつとなります。今後、前橋育英の多岐に渡る活躍を期待しています。

# 進路

～きっと見つかる、色んな夢～

平成29年度入試結果

大学合格者数 国公立・準大学合格者数 私立大学合格者数

**417名** (現役374名) **62名** (現役56名) **355名** (現役318名)

## 進路の日Ⅰ類

現役東大生2名による有意義な講演が行われました。経済学部3年の綱島さんは「現役東大生が伝えたい、やってはいけない勉強法」の著者でもあり、多くの生徒にとって自らの現状を打破するための発見があったようです。質疑応答も例年になく活発でした。日々の学習に向けたきっかけを手にした生徒の今後に期待したいと思えます。

## 進路の日Ⅱ類

群大教育学部、健科大診療放射線学部、高経大経済学部・地域政策学部から計4名の本校Ⅱ類卒業生が集まり、Ⅱ類の持つ可能性や高校生活の過ごし方についてのシンポジウムが行われました。同じ類型の先輩の話ということで、生徒の聞く姿勢はいつも以上に熱心でした。生徒からは進路実現に向けて意識が高まった様子がうかがえました。

## 校外夏期進学合宿を終えて

今年度はⅡ類計110名の希望者が3泊4日の進学合宿に参加しました。休憩時間を短くするなどして設定した学習時間を超えて努力する3年生の姿勢が下級生に良い刺激を与えていました。また多くの生徒が「長時間にわたり学習に集中できる自分」に気づくことができたと思います。この経験を今後の飛躍につなげて欲しいと思えます。

## 大学見学を終えて

10月12日、普通科14クラスが筑波大、早稲田大を始め、GMAR CH、日東駒専など首都圏の有名大学の見学を行いました。実際の大学施設を見て驚きを感じたり、学生の雰囲気を知ったことで、進学意識が高まったようです。今後は自らの希望する大学のオープンキャンパスに参加するなどして、志望校決定につなげていって欲しいと思えます。

## 地域懇談会の開催

本校では毎年、学校近隣の「朝日が丘町」、「上新田町」、「光が丘町」、「大根根町」の各自治会役員の方々をお招きし、学校から近況報告を行い、同時に地域住民の皆様からのご意見ご要望等をお伺いする情報交換の場を設けています。

去る7月3日に開催した今年度の地域懇談会では、学校より最近の行事等の報告に加え、平成三十年四月に開学予定の育英大学の紹介、姉妹学園である中村学園の大根根育英幼稚園の開園などのご案内を行いました。

自治会役員の方々からは、本校生徒の登下校時の自転車の乗り方などに関する問題点、生徒を送迎する保護者の運転マナーなどに関するご意見ご指摘をいただきました。特に雨の日は学校周辺が混雑するため、集団登校の小学生が事故に遭わないよう十分に注意してほしいとの話がありました。

また、本校生徒の学校生活や日常生活に関するご質問も多数いただき、本校に対する関心の高さをうかがうことができました。

今後も地域懇談会を定期的に開催し、地域の皆様との情報交換を活発に行っていきたいと思えます。



## スポーツ実績 2017 Summer～Autumn

### 陸上競技部

**2017南東北インターハイ**  
**男子**  
 【400m】細井ブライアン(3年) 48秒00 5位  
 【800m】丸山脩太(3年) 1分51秒09 4位  
 【円盤投】篠崎亮介(3年) 44m86 9位

**女子**  
 【棒高跳】岡本風香(2年) 3m70 6位

**2017愛顔つなぐえひめ国体**  
 少年男子A  
 【400m】細井ブライアン(3年) 47秒79 5位  
 少年男子共通  
 【800m】丸山脩太(3年) 出場  
 【円盤投】篠崎亮介(3年) 44m11 12位  
 少年女子共通  
 【棒高跳】岡本風香(2年) 3m75 4位

**第52回県高校総体 駅伝競走の部**  
**男子 3位**  
**女子 3位**

### 男子サッカー部

**2017南東北インターハイ 3位**  
**2017愛顔つなぐえひめ国体**  
 少年男子  
 群馬県選抜(9名出場) ベスト8  
**第96回全国高校サッカー選手権大会**  
 群馬県大会 **優勝**

### 女子サッカー部

**2017南東北インターハイ 5位**  
**2017愛顔つなぐえひめ国体**  
 女子  
 群馬県選抜(1名出場) ベスト8  
**群馬県高等学校女子サッカー選手権大会 優勝**  
**第26回関東高等学校女子サッカー選手権大会 3位**

### バスケットボール部

**男子**  
**2017南東北インターハイ 出場**  
**2017ウインターカップ県予選会 優勝**

### 水泳部

**男子**  
**第52回県高校総体 競泳**  
**学校対抗 優勝**

**2017南東北インターハイ**  
 【1500m自由形】高橋沈輝(3年) 15分19秒63 **優勝**

**2017愛顔つなぐえひめ国体**  
 オープンウォーター 綿貫慶吾(2年) 出場

競泳  
 少年男子A  
 【400m自由形】高橋沈輝(3年) 出場  
 【400m個人メドレー】高橋沈輝(3年) 出場  
 【800mリレー】高橋沈輝(3年)・浮島知稀(2年) 8位  
 【400mメドレーリレー】浮島知稀(2年) 出場

飛込  
 少年男子  
 【高飛込】倉知諄(3年) 出場

### ウエイトリフティング部

**女子**  
**アジアユース・ジュニア選手権大会**  
 【48Kg級】原沙織(2年)  
 スナッチ65kg 3位  
 クリーン&ジャーク82kg 4位  
 トータル147kg 4位

**2017愛顔つなぐえひめ国体**  
 女子  
 【53Kg級】原沙織(2年) 出場

### 剣道部

**男子**  
**2017南東北インターハイ 団体出場**

### 男子柔道部

**2017南東北インターハイ**  
 団体ベスト16

### 女子テニス部

**2017南東北インターハイ**  
 【シングルス】湯浅里帆(2年) ベスト16

**2017愛顔つなぐえひめ国体**  
 少年女子  
 【団体】湯浅里帆(2年) 出場

### ゴルフ部

**2017愛顔つなぐえひめ国体**  
**女子**  
 【団体】石川茉友夏(2年) 出場

### 硬式野球部

**第28回WBSC U-18**  
**ベースボールワールドカップ**  
 【日本代表】丸山和郁(3年) 3位

**第70回秋季関東地区高等学校野球大会**  
 県予選 ベスト4

### 弓道部

**第36回関東高校弓道**  
**個人選手権選抜大会**  
 濱上奈々未(2年) 9位

### ボウリング

**第41回全日本**  
**高校ボウリング選手権大会**  
 渡辺莉央(1年) 3位

# 保護者会だより

## 第二回 進路の目

### Ⅲ類・Ⅳ類・保育科

進路指導委員長 立川 貴

9月11日、第2回「進路の日」として「保護者会協力による職業観育成ワークショップ」が2・3年Ⅲ・Ⅳ類保育科/1年保育科の生徒を対象に開催されました。

ワークショップも今年で4回目となり私たち3年生の保護者にとつては3回目の体験です。内容は例年通り保護者22名が各教室を廻り、各自の体験を基に「将来の就職までに知っておくべきこと」をテーマに話していただきました。あるクラスでは笑い声や拍手、またあるクラスでは真剣に聞き入りメモをとる様子も見受けられました。緊張した面持ちの保護者も生徒達の前では親の様な気持ちで体験談を話され、皆達成感や満足感を味わえたようでした。今回のワークショップが少しでも生徒達にとつて役立つ体験になり、将来を見据えるきっかけやヒントになれば良いと思います。



進路指導部主任 渡辺 貴弘

普通科ⅢⅣ類及び保育科の「進路の日②」も現行の形式になり4年目を迎えました。「何をきっかけに現在の職業についたのか」「働くということはどういうことなのか」など、生徒たちの日常ではなかなか目が見えない、進路選択の先について講演していただいております。キャリア教育の必要性が訴えられている昨今において、特に普通科の生徒にとつて「働く」ということを描くことは困難です。身近な社会人である保護者のみなさんの言葉が生徒の職業観育成に大きな力を与えてくれています。

講演をしていただいた保護者のみなさん、大変ありがとうございました。生徒一人ひとりの明るい未来のために、今後ともご協力をお願いします。

## 進路の日の講話を聞いて

3年7組 神保 亜実

講師の先生方に、普段聴くことの出来ない貴重なお話しをしていただきました。担任の先生からも伺っていた「主体性」の向上や「コミュニケーション能力」の重要性など、経験談を交えながらだったので、わかりやすかったです。日々の生活でも活かしたいと思います。貴重な時間を私たちにのために作って下さり、有り難うございました。



## 進学合宿を見送って

進路指導委員長 鈴木 真弓



今年も厳しい暑さが続く中、7月21日より4日間、新潟県津南町にて進学合宿が行われ、Ⅰ、Ⅱ類の多くの生徒達が参加しました。

出発式でも普段とは違う環境で、先生方の御指導によりたくさんの事を学んでこようとする意欲が伝わってきました。今年も保護者会より差し入れを行い、学校に残る先生方と進路指導委員会の役員で出発するバスを見送りました。



## 全国高P連 静岡大会に参加して

8月24日～25日

副会長 大淵 奈々子



静岡大会のテーマは「有徳の人」づくりでした。

高校生のアトラクションから始まり、開会式、基調講演と続きました。基調講演では静岡大学名誉教授、小和田氏が戦国武将に学ぶ子育てと人づくりというテーマで講演してください。興味深い内容でした。また分科会においては、「有徳の人」を育てる防災・減災教育の推進というテーマで行われ、学校及び地域社会において防災・減災に関する知識や技能を総合的に学習、訓練が必要であり、家庭や地域社会の防災・減災体制について啓発していくことが大切だということや学びました。とても有意義な二日間となりました。

## 関東高P連 神奈川大会に参加して

7月7日～8日

文化副委員長 青柳 孝拓

大会のテーマは「心ふれあう、しなやかなひとづくり・学び行動するPTA」でした。記念講演では羽鳥慎一アナによる「聞く力、話す力」と題して上下関係や人とのふれあいの大切さ、話すという事は相手の話を良く聞く事など沢山のメッセージが伝わってきました。締めくくりでは「人生は下りのエスカレーターを上っている様なもの、現状維持が大切」というのが印象的で有意義な二日間でした。

## 中毛地区PTA指導者 研究集会に参加して

監査 設楽 真希

10月6日、前橋テルサにて群馬県中部地区4校のPTA会長による協議と生徒による意見発表が行われました。前橋商業、前橋南、伊勢崎清明、伊勢崎工業高校各校の取り組みについて詳しく意見を聞かせていただき学校とPTAの連携の重要性を実感しました。前橋工業、玉村、前橋西、四ツ葉学園生徒さん達の発表は将来に向けてしっかりと考え、日々の学校生活を送っていることが伝わりました。

# 育英祭

## 温故知新

育英祭実行委員長

3年 宮田 万輝

第25回、文化祭実行委員長を務めさせていただき、また3年の宮田万輝です。

まず、今回の育英祭を開催するにあたり、御協力いただきました先生方や保護者の方々、地域の皆様方、この場を借りてお礼の言葉を述べさせていただきます。本当にありがとうございます。

無事に第25回目を迎えることのできた育英祭ですが、二日間を通してあいにくの雨でした。

そんな雨の中ですが、沢山の来場者の皆様に足を運んでいただき、大盛況のなか



## 育英祭に参加して

総務委員長

金井 公一

去る10月20日、21日の両日で第25回育英祭が開催されました。あいにくの天気となつてしまいましたが、大勢の方が訪れて大変賑わいました。各クラスでの発表や展示、部活ごとの模擬店など、様々な工夫があったり、大きな声で自分たちの展示などにお客さん

を呼び入れたり、子供たちが楽しんでる姿を見ることができて、大変良かったです。また、私たち保護者会も、模擬店とバザーで参加をさせていただきました。思春期の子供たちと共有な時間を過ごせたことは保護者にとつても貴重な体験をさせていただくことが出来ました。

終わることができました。クラスで力を合わせたクラス発表。部活ごとの個性あふれる模擬店。みなぎる若い力満載の育英グラウンド。どれも自分達生徒にとつては青春の1ページに刻まれる良い思い出になりました。

また、1・2年生は初めてということもありましたが、とても精力的に運営に携わってくれて例年よりも早く準備を終えることができました。3年生は2回目の育英祭で最上級生という誇りを持って下級生を引っ張っていかけてくれる姿がとてもたくましく見えました。自分は来年には大学生になります。後輩達にはこの良き前橋育英の伝統である育英祭を受け継いで欲しいと思います。



## 吹奏楽部 第44回定期演奏会を聴いて

娘達が、中学生時代に吹奏楽部だったということもあり、以前から聴きたいと思っていた定期演奏会に行つて来ました。前橋育英高校吹奏楽部は、入学式や卒業式への行事での演奏や、硬式野球部の応援、サッカー部の応援など、生徒、応援団と一体となつて選手たちを励ましてきています。また、今年度より指揮者の山本佳弘先生のご指導のもと、新生前橋育英高校吹奏楽部となり期待大です。



部員のみなさんの一生懸命演奏する姿を、客席から堪能させて頂きました。これからも、さらなる素晴らしい音楽集団になる事を、お祈りして私の感想としたいと思います。

## マナーアップ運動

生徒指導委員長 奈良 恵利子

子供達が安全に登校する為に、先生方・保護者会皆様方協力のもと、年に3回マナーアップ運動を実施しております。朝のラッシュ時は、大人の方は車両に乗りし急いでおります。交通事故に遭わない為にも、早めの行動、左右の確認、イヤホン・並走せず、登校しましょう。



## 学校見学会

会計 深野 忍

群馬県私立小・中・高等学校保護者会連合会、学校見学会が10月13日、明和県央高校で行われました。ガラス張りの校舎がお洒落で、給食があるのは魅力的です。特進棟内は開放感溢れ、吹き抜けの階段やドアの色、椅子の色は心や身体の疲れも癒し吹奏楽の演奏もとても感動し有意義でした。今回、お世話になった各関係者の皆様方には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。



## 前橋まつり巡視

生徒指導委員長 奈良 恵利子

10月7日(土)前橋まつりの巡視が行われました。今年も本町の八幡宮に集合し、保護者・先生方協力のもと、4班に分かれて出発しました。

巡視中は、数組の生徒に会いました。口頭での声掛けでしたが、意識づけができたのではないかと思います。

来年も保護者皆様のご協力を、お願いします。



前橋育英

# 雄渾

同窓会  
だより

## 一致団結

同窓会長 新井 信雄  
(第3期生・昭和43年卒)



前橋育英高等学校同窓会会員の皆様には日頃より格段のご配慮、ご支援をいただき心より感謝申し上げます。

今年度の総会において過去最多の200名を超す会員が参加し、記念講演、会員相互の懇親会、盛大に実施でき大変お世話になりました。次回も前橋での開催が決定しており多数の参加者を期待しております。

昨年はOB諸君の活躍が見られ、特に南米リオデジャネイロはオリンピック開催で大いに湧き上がり、その中で柔道カナダ代表として本校卒業生のレイズカヨル君が出場しました。

今年も県内無敗の前橋育英野球部が第99回全国高校野球選手権大会に出場し実力を発揮。3回戦に駒を進め、今大会優勝校でもある花咲徳栄(埼玉)と正々堂々と戦い、その勇姿は全国の野球ファ



ンからも高い評価を受けました。また、インターハイは「繋がる絆、魅せよう僕らの若き力」のスローガンのもと、南東北3県で開催され、本校からは多数の生徒が出演し、サッカー男子の三位を始め数々の成績を残しました。文化面でも、写真部、華道部、吹奏楽部などの活躍がありました。加えて、清掃・募金・ボランティア活動などに積極的に取り組む、地域社会から厚い信頼を受けています。

## 同窓会総会、盛大に開催

平成29年7月1日(土)、エテルナ高崎に於いて今年度の定期総会、特別講演、懇親会が開かれ、たくさんのお客さんが親睦を深めました。新井信雄同窓会長は挨拶の中で「同窓会を活性化するためにも、総会や学校行事に多くのOB、OGの方に足を運んでほしい」と話されています。総会では昨年度の事業、会計報告が行われたほか、本年度の事業、予算計画について話し合われました。

総会後には山田耕介校長(サッカー部監督)の特別講演が行われ、前橋育英高等学校サッカー部の足跡(栄光と苦労)を、映像を交えながら話されました。サッカー部OBの方も大勢出席されていたので、歓声や笑いもあり、和やかな講演でした。懇親会では200名を超える同窓生の方々が互いに近況報告や、タイムスリップしたかのように思い出話に花を咲かせていました。また育英短大の「あばれん坊太鼓(和太鼓サークル)が懇親会中にすばらしい演奏を披露し、会を大変盛り上げてくれました。

今回の総会を開催するにあたり、前橋育英高校同窓会に携わるたくさんの方々にご支援、ご協力をいただき、大変感謝しています。来年度は今回を超える多数の方々の出席を願っています。



(左から2番目が私)

## 私の近況報告

(第29期生・平成6年卒) 山本 晃司

## 親子二代同窓生

佐藤 洋子

(第27期生・平成4年卒) 優衣 (普通科1年)



この原稿依頼を頂いたことにより、改めて高校卒業の年を確認する機会となりました。「光陰矢の如し」です。約25年も前に卒業した高校に今年、思いもよらず娘が入学しお世話になっております。

昔と今では多くのことが変貌していて、テニスコートもいつの間にかクレイコートからオムニコートになっていました。男女併学から共学に、英語科や体育科の募集停止、制服の変更、第一体育館建替え等々。この四月、娘たちは目的を持って入学しました。何もかもかえがたい若さで自己の可能性に挑戦し、短い三年間を有意義に過ごしてもらいたいと願っております。

まず、甲子園はもちろん関東大会の各開催地や、東海・新潟・関東各地の練習試合遠征地まで父兄の方々と同様に追っかけ、サッカー部も選手権や、プリンスリーグではホームはもちろんアウェイの試合も関東各地に時間を作っては応援に行っています。これらの応援に

行くことにより、多くの育英ネットワークが広がり、全国大会の応援を通じて他県の熱心なファンの方々とも知り合うことができ、大変有意義な休日を過ごさせて頂いております。これからも現役生や同窓生で頑張っている皆さんを応援したいと思っております。

前橋育英高等学校

## 平成30年度 同窓会総会・懇親会

日時 平成30年7月7日(土) 午後5時より

場所 ホテルラシーネ新前橋 前橋市古市町1-35-1

会費 5,000円(懇親会費)

卒業生ならどなたでもご参加OKです!! お気軽にご参加下さい!

詳細については後日同窓会HPまたはFacebookにてお知らせします。

★同窓会のホームページが出来ました★

<http://www.mikuei-dousokai.com/>

# 後援会だより

## 〇〇ファースト

後援会長 福島 英人



前橋育英高校のウェブサイトを開くと、ホームページに「スチューデント・ファースト」の文字が飛び込んできます。生徒一人ひとりの「学びたい」「変わりたい」「成長したい」と言いたい気持ちをサポートし、実際に導くことを第一に考えています。と、あります。

〇〇ファーストという言葉はいろいろな場面です。それぞれに使われています。我が育英高校においては、生徒指導に尽力いただいている先生方の長年の積み重ねが、この言葉に合致したのだと感じます。しかしながら言葉だけで意味を取り違えると、「自分ファーストになつていないだろうか」と心配になります。先日こんな詩を目にしました。

草を観る心は  
おのれ自身を観る心である。  
木を識る心は  
おのれ自身を識る心である。

北原白秋(詩人)

草とは、木とは何なのか。それは自分の行動・思考のことなのか。それとも父母や先輩・後輩のそれらのことなのか。一人ひとり答えは違うと思います。明確なことは、根本に相手を思いやる心がなければ、〇〇ファーストなど意味のないことだということになります。

後援会の目的は、建学の精神である『正直・純潔・無私・愛』を基盤として、社会に求められる卒業生を送り出し、併せて育英高校の発展に寄与するところにあります。生徒各自が育英で学ぶ三年間の中で、自分を、そして関係する相手を自分と同じように大切にできるように、後援会として側面から支援してまいりたいと思います。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

### 平成二十九年年度 後援会定期総会

7月14日(金)ラシーネ

副会長 赤木 由美子

夏空がまぶしく輝く季節、ホテルラシーネ新前橋にて後援会定期総会が行われました。黒澤副会長の司会進行により、福島会長、中村理事長、山田校長とご挨拶を頂き議事へ進みました。

定期総会に出席された35名の皆様に議案を審議頂き、全て承認されました。

福島会長のもと、新たな風が入り、更に時代のニーズに合った後援会になって行く事と思っております。そして、より多くの後援会役員の皆様のお力添えにより、前橋育英を支え、見守り、応援して行きたいと考えておりますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。



### 後援会員の皆様へ

校長 山田 耕介  
日頃からお世話になっております。また今年度におきましては、春・夏の甲子園、年末年始に開催されるバスケット・サッカー男女の全国大会では、物心両面に渡り御支援、誠にありがとうございます。今後共よろしくお願いたします。

### 学校後援会援助金贈呈式

副校長 金子 雅人

7月20日、後援会クラブ活動援助金贈呈式が行われ、福島後援会長よりクラブ補助金が、20クラブに贈呈されました。福島会長の激励の後、各クラブを代表して、男子バスケット部顧問の鈴木先生より、各クラブのさらなる飛躍を誓いました。



### 平成29年度『優秀前橋育英生』



今年度の『優秀前橋育英生』は、次の生徒達に贈られます。表彰式は12月22日終業式後に執り行われます。

- ウエイトリフティング部 原沙織(2-3) 3位
- アジアユース・ジュニア選手権大会 第9回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会 優勝
- 水泳部 高橋光輝(3-11) 優勝
- 2017 南東北インターハイ1500m自由形
- 硬式野球部 丸山和郁(3-10) 3位
- 第28回WBSCU-18ベースボールワールドカップ
- 男子サッカー部 飯島陸(3-10) 5位
- 渡邊泰基(3-11) 3位
- デュッセルドルフ国際ユースサッカー大会
- 松田陸(3-11) 3位
- 第23回U18リスボン国際トーナメント
- 角田涼太郎(3-12) 3位
- U19-Four Nations

### コラム育英Ⅱ

### 2020年東京 オリンピック開催

二度目の東京オリンピックを体験できる人は、時代の変化により前回開催と違う体験ができるのでは、と前号でお話させていただきましたが、さてどのような違いがあるのか考えてみました。会場風景、応援風景や競技種目の変化。開会式や閉会式は年々華やかになり、どのような演出で聖火台に火を灯すのかなど、時代の違いを感じられることと思います。

最大の関心事は、日本選手団が何個のメダルを獲得できるかでしょう。獲得期待度はどの時代も変わりはないと思いますが、獲得の確率は年々増えてきています。1964年東京開催のメダル獲得数は26個、2016年里オでは88個でした。東京2020では何個獲得できるか、期待と共に時代の変化を感じられる大きなイベントとなるでしょう。

(〇記)



# 全国大会 出場決定!!

## 男子サッカー部

### 第96回全国高校サッカー選手権大会出場

監督 山田 耕介

「リベンジ埼玉」平成29年1月9日、高校サッカー選手権大会決勝、青森山田に0-5で敗退、この悔しさを忘れるな、必ず埼玉でリベンジする。今年度の合言葉である。この屈辱的な敗退は、選手達を奮立たせた。自分の体が悲鳴をあげても、自分だけ上達しなくて逃げだしたくなる時もあったと思う。それでも彼らは、サッカーに向かっていった。リベンジする為に…。県大会決勝、対桐生第一戦、何とか勝つことができた。チャンスを与えてくれた全ての人に感謝し、全国では必ず埼玉に行く。



**第96回全国高校サッカー選手権大会**  
2017/12/30(土)～2018/1/8(月・祝)  
埼玉スタジアム2002ほか

## 女子サッカー部

### 第26回全日本高校女子サッカー選手権大会出場

監督 大手 真智子

この度、沢山の皆様方の応援のおかげで、四年連続全日本高等学校女子サッカー選手権大会に出場することが出来ます。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。  
群馬県予選を五連覇し、関東大会では、三位で終わりましたが、苦しい闘いでした。  
今年は「Unimaginable possibilities」を掲げ、諦めずに努力してきました。昨年の悔しさを胸に、夢の舞台上で闘える喜びと多くの方々への感謝の気持ちを持ってチャレンジャーとして挑んでいきます。応援宜しくお願い致します。



**第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会**  
2017/12/30(土)～2018/1/7(日)  
神戸総合運動公園ほか

## 男子バスケットボール部

### ウィンターカップ2017 出場

監督 加賀谷 寿

今年度はインターハイではまさかの1回戦敗退という結果で非常に悔しい思いをしましたが、夏を過ぎてから選手全員の意識に変化が表れチーム全体がレベルアップしたと思います。  
その結果、下級生の時からチームを支えてきた3年生、それに2年生、1年生それぞれが融合して初めて3学年選手が揃ってのウィンターカップ出場は大変嬉しく思います。また色々サポートを頂いた学校関係者、保護者、応援して下さいの方々には感謝申し上げます。  
選手権大会では「泥臭さを大切に」という気持ちを忘れず、一つでも多くの勝利を積み重ねられるようにチーム一丸で頑張りますので応援宜しくお願い致します。



**第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会**  
2017/12/23(土・祝)～29(金)  
東京体育館

## 「全国大会出場募金」申込受付中

募金のお申込みが、さらに便利になりました。ホームページからクレジットカード、ペイジー(インターネットバンキング)によるお申込みができるようになりました。

■ URL : <http://maebashiikuei-h.ed.jp/donation.php>



(QRコード)

## 放送無線部

### 第14回群馬県高校放送コンクール

日程:11月12日(日)  
会場:中央工科デザイン専門学校  
結果:〈朗読部門〉大林菜々(1-4) 2位  
※全国大会(2018長野総文)に出場  
〈アナウンス部門〉鍋木菜々(2-1) 6位  
※関東大会に出場



(左)鍋木さん (右)大林さん

## 美術部

### 第41回群馬県高等学校芸術祭美術・工芸部門展

日程:11月2日(木)～8日(水)  
会場:高崎シティギャラリー  
結果:滝沢奈己(3-4) 優秀賞  
上原真紀(2-8) 優良賞



(左)上原さん (右)滝沢さん

3位  
**U-18日本代表 丸山和郁選手**  
 第28回WBSC U-18ベースボールワールドカップ  
 9月1日(金)～11日(月) カナダ サンダー・ベイ

オープニングラウンド	スーパーラウンド
対 メキシコ 10-1	対 オーストラリア 4-3(延長11回)
対 アメリカ 0-4	対 カナダ 4-6
対 キューバ 7-2	対 韓国 4-6
対 オランダ 3-1	<b>3位決定戦</b>
対 南アフリカ 12-1	対 カナダ 8-1

3位という個人としてもチームとしても悔しい結果で終わってしまいました。世界のレベルは高く、自分の実力不足を痛感しました。野球をするのが怖いと思うほどでした。この経験を生かし、もっと練習して次のステージで頑張りたいと思います。応援本当にありがとうございました。

丸山 和郁(3-10)

合同誌広報委員

文化副委員長 佐藤孝子  
朝夕寒冷を覚える季節となりました。  
今回も前橋育英高校の活動・活躍が盛り沢山の高校報が出来上がりました。  
本号を通して、この感動、そして情報をお伝え出来ることをうれしく思います。  
発行にあたり、ご協力、ご寄稿を賜りました皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございます。

## 編集後記

高学後同 〃〃〃〃 援窓 校 園 会 会	塚真唐高岡神黒小磯大坂堀安小荒田田加柳塚青佐生佐 田下沢橋上山澤椋田塚内越藤澤川村口藤沢川つ智恵孝孝桂暁 智 直義 靖孝純礼智充裕 つぶ 利喜明恵孝孝桂暁 恵 紀 仁 敏 美 幸 光 晃 寿 子 子 子 恵 子 佳 恵 子 美 子 拓 子 子	保護者会
----------------------------	--	------